

2004年3月1日

液晶表示材料ビジネスの一層の拡大

- 韓国・台湾において偏光フィルムの第二期製造ライン建設を決定 -

住友化学は、液晶パネルの重要部材である偏光フィルムについて、韓国・台湾でそれぞれ原反から製品化まで一貫生産できる新たな製造ラインを増設することを決定し、近く着工いたします。

当社は、情報電子分野を最重点分野の一つとして、積極的に戦略投資を行い事業拡大を図ってきています。中でも液晶表示材料について、韓国でのカラーフィルター工場や、韓国、台湾での偏光フィルムの一貫生産工場の建設を積極的に進めてまいりました。今回はこれらに続き、偏光フィルムの第二期の製造ラインを建設するものです。

偏光フィルムを中心とする光学機能性フィルムは、テレビやパソコン、携帯電話等の用途への液晶パネルの普及、拡大に伴い需要が急増しています。当社は光学機能性フィルムの主要メーカーとして、需要家から強い増産要請を受けており、これらに応えるため今回の増設を決定いたしました。

生産能力はそれぞれ年間400万 m^2 で、いずれも本年12月末の完成を目標としています。設備投資額は、用地の取得・整備コストを含めて総額200億円の計画です。

韓国では、当社の情報電子材料の生産・研究拠点である平澤^{ピョンタク}工場の隣接地に新たに用地(15万 m^2 、既存と併せて30万 m^2)を取得し、東友光学フィルム(株)が3月中旬を目途に建設をスタートさせます。これにより韓国での生産能力は、合計年間800万 m^2 となります。

台湾では、住華科技(股)有限公司が、現在建設中の第一期工場(本年3月完工予定)のある台南サイエンスパーク内に新たなラインを建設いたします。増設後は台湾でも年間800万 m^2 の能力となります。

これらが全て完成すると、当社の偏光フィルムの総生産能力は、国内と合わせて年間2,400万 m^2 と世界有数の生産規模となり、中でも液晶表示部材の需要の伸長が著しい韓国・台湾においてはトップクラスの生産能力を有することになります。さらに当社は、近い将来に中国で生産体制を拡充することも検討しています。

当社はこのように、アジア主要国での生産体制を整備、充実させ、需要家の品質改良などの要望に素早く対応し、かつ安定的に製品を供給する基盤を整え、サービスの向上を図ってまいります。そして需要家との強固な戦略的協力関係構築を推進し、情報電子材料ビジネスを成長させていく所存です。

以上

【参 考】

1. 東友光学フィルム株式会社

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 設 立 | 2002年10月 |
| (2) 本 社 | 韓国 平澤市 |
| (3) 社 長 | 崔 昌默(チェチャンムク) |
| (4) 資 本 金 | 450億ウォン (住友化学75%、東友ファインケム25%) |
| (5) 人 員 | 149名(2003年12月末) |
| (6) 事業内容 | LCD用光学機能性フィルムの原反及び加工品の製造・販売 |

2. 住華科技(股)有限公司

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| (1) 設 立 | 2001年4月 |
| (2) 本 社 | 台湾 高雄市 |
| (3) 社 長 | 大迫 一義 |
| (4) 資 本 金 | 10億NTドル (住友化学80%、稲畑産業20%) |
| (5) 人 員 | 447名(2003年12月末) |
| (6) 事業内容 | LCD用光学機能性フィルムの原反及び加工品の製造・販売 |